

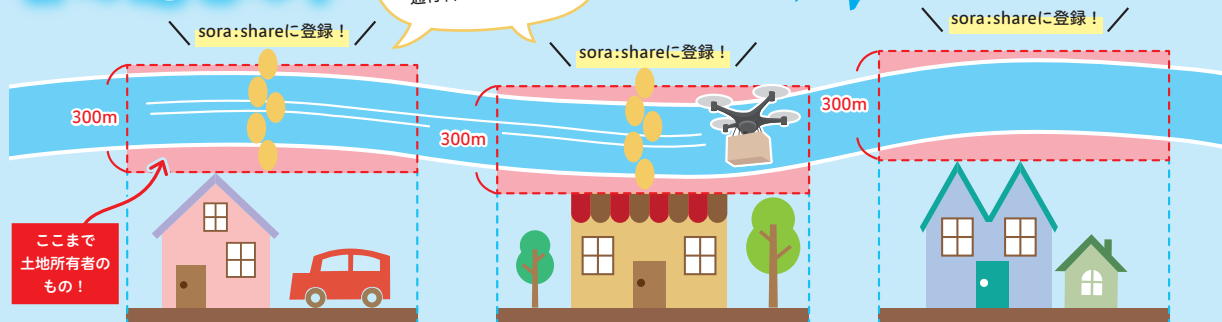
イラストで解説!

空の道とは?

登録した土地の上空を
ドローンが通ると
通行料が支払われる!

上空300メートル以上は
航空機が飛行できる高さ

sora:share
はこちら→



規制が多いドローン飛行をスムーズにするため、登録された土地の上空をつなぎ合わせて「空の道」をつくる



株式会社トルビズオン
増本 衛 代表取締役

株式会社トルビズオンが 目指す多久市の未来

多久市は平成28年から物やサービス、場所などを共有する仕組みを地域課題解決のために活用されてきました。そこで私たちの「ソラシェア」が役立つと思い、多久市と連携協定を締結。強固な協力体制で、課題解決に取り組んでいます。

今後は、多久市がドローン空路設計のモデル都市となるよう、多久市まちづくり協議会かつやく隊のみなさんとともに、2年間で10本の空路整備を目指します。



▲西多久多目的運動広場から船山キャンプ場へ着陸したドローン

ドローンが飛ぶ空を 「当たり前」に

2年間で10本の空の道を作ると宣言した多久市まちづくり協議会かつやく隊は、その後わずか2か月で3本を整備。1月には西多久町のほかに、日用品を高齢者施設などへ届ける、北多久町の道や多久市立病院から南多久町(駄道地区)



▲届けられた食材ですっぽん鍋を作りました(船山キャンプ場)

実証実験を行いました。実証実験を終えた笹川さんは「みなさんがこの取り組みを歓迎してくださったのが伝わってきて、たまらなく嬉しかったですね。あの場にいた全員が空を見上げ、わくわくしていたのを肌で感じられました」と話します。

をつないで薬を届ける医療の実証実験も成功させました。医療の道では、実際に電話診療で処方箋を出してもらい、薬を患者さんに届けることができたそうです。

より便利な暮らしになるよう、多久市まちづくり協議会かつやく隊ではさらなる空の道を考案中です。

「苦労は多々ありますが、この取り組みは答えのないところに答えを作るもの。立ち止まってはられません。空の道をととして多久市の新たなスタンダードを作るため、これからも精力的に活動します」と話す笹川さん。

多久市まちづくり協議会かつやく隊は、未来の多久市へつなぐ大きな夢に向かって、力強く羽ばたきます。



問い合わせ | 多久市まちづくり協議会かつやく隊
☎ 080-3980-1810
Email: machipurotaku@gmail.com